

# 米山奨学委員会 大学/地区情報交換会プログラム

## 米山奨学委員会

委員 近藤菜穂子 (大阪ネクストRC)

日時：2011年7月29日(金) 15:00～17:00

場所：ガバナー事務所会議室

参加者：武島委員長、田中副委員長、吉田副委員長、西谷副委員長、有竹、西邨、榊原、福田、近藤、各委員

大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、追手門学院大学、大阪経済大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、関西大学、関西医科大学、関西外国語大学、近畿大学、摂南大学、梅花女子大学、相愛大学、大阪日本語教育センター、コミュニケーションアート、大阪ハイテクノロジー

7月29日、地区米山奨学委員会と大学等との地区懇談会をガバナー事務所会議室で開催致しました。2012年度の米山奨学生を選考するにあたり、24の指定校（5校は欠席）の担当者に御出席いただきました。

米山記念奨学事業の使命とは、将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものになります。この重要な使命をお伝えする大切な情報交換会であります。有竹委員の司会のもと、武島委員長から参加いただいている各大学の担当者より自己紹介と現状についてお話いただきました。

各大学の担当者からは「ロータリアンからの支援を楽しみにしている」「米山奨学事業に沿った留学生を送りたい」「ロータリーの求めている奨学生像を詳しく知りたい」など積極的な意見が出ていました。

そのようなご意見にお答えする意味も含めて、ロータリークラブ、米山奨学制度について田中副委員長よ



りDVDやPower pointを用いて説明がありました。

また、質疑応答では事前に大学からのアンケートに基づきQ&A形式で資料としてお渡し、さらに理解を深めていただきました。特に奨学生の選考として大切にしている点は、ロータリークラブの考え方を理解し奉仕の精神を持っていただきたいこと。いくら学業成績が良く素晴らしい研究をしている学生でも金銭的支援だけを目的にせず、日本と友好的な関係を築くことに関心をもっていただき、ロータリーの活動・運動を理解しようという前向きな姿勢のある奨学生を望んでいるなど具体的に記載されていました。

最後に武島委員長より担当者の方々に、「留学生と直接関わりあうことができる皆様方なので、その学生がどのように変わっていき、成長していく過程を一緒に楽しんでいただきたい。その醍醐味を味わうことができます。私どもと一緒に米山奨学生を育てていきましょう。」と結ばれました。

大学側同士の情報交換も活発におこなわれて、地区米山奨学委員会にとっても大変貴重で有意義な懇談会となりました。

